

中野駅地区「交通結節点のあり方検討会」の設置等について

1. 中野駅地区「交通結節点のあり方検討会」の設置

（1）目的

平成 18 年度の中野駅地区整備計画案作成の調査検討においては、検討会を組織し関係者の意見を反映しながら検討を重ねてきた。

本年度は、昨年度検討会の構成員を基本とし、東日本旅客鉄道株式会社等の参画のもと、今後の駅周辺地区の開発動向等に対応できる交通結節点の基本的なあり方を検討する「検討会」を設置する。

（2）内容

①検討会の構成

構成メンバーは、中野区、学識経験者、東京都関係行政機関、東日本旅客鉄道株式会社及び独立行政法人都市再生機構とする。

②検討内容（別紙 1 参照）

○過年度検討、地元説明状況等の整理、本年度検討課題の整理

- ・交通結節機能等調査検討（H16 年度）の整理
- ・中野駅地区整備計画案作成のための調査・検討（H18 年度）の整理
- ・地元説明の状況、地元意見
- ・上記経緯を踏まえた検討方向の整理

○歩行者動線計画の整理

- ・現況歩行者動線の課題整理
- ・駅を中心とした歩行者動線の考え方
- ・駅地区及び駅周辺の歩行者動線計画の検討

○駅施設の検討

- ・新設駅舎の位置、レベル等の検討
- ・既存駅舎の扱いの検討
- ・歩行者動線の検討

○駅施設と駅前広場の配置検討

- ・駅施設と歩行者動線の関係整理
- ・中野駅地区の空間構成・回遊レベルの検討
- ・配置構想案の検討（駅施設、駅前広場、歩行者・交通動線の整理）

○事業ボリュームの検討、配置構想案のまとめ

- ・概算事業費の算出（駅舎を含む）
- ・事業手法の検討
- ・配置構想案のまとめ

2. 今後の予定等（別紙 1 及び別紙 2 参照）

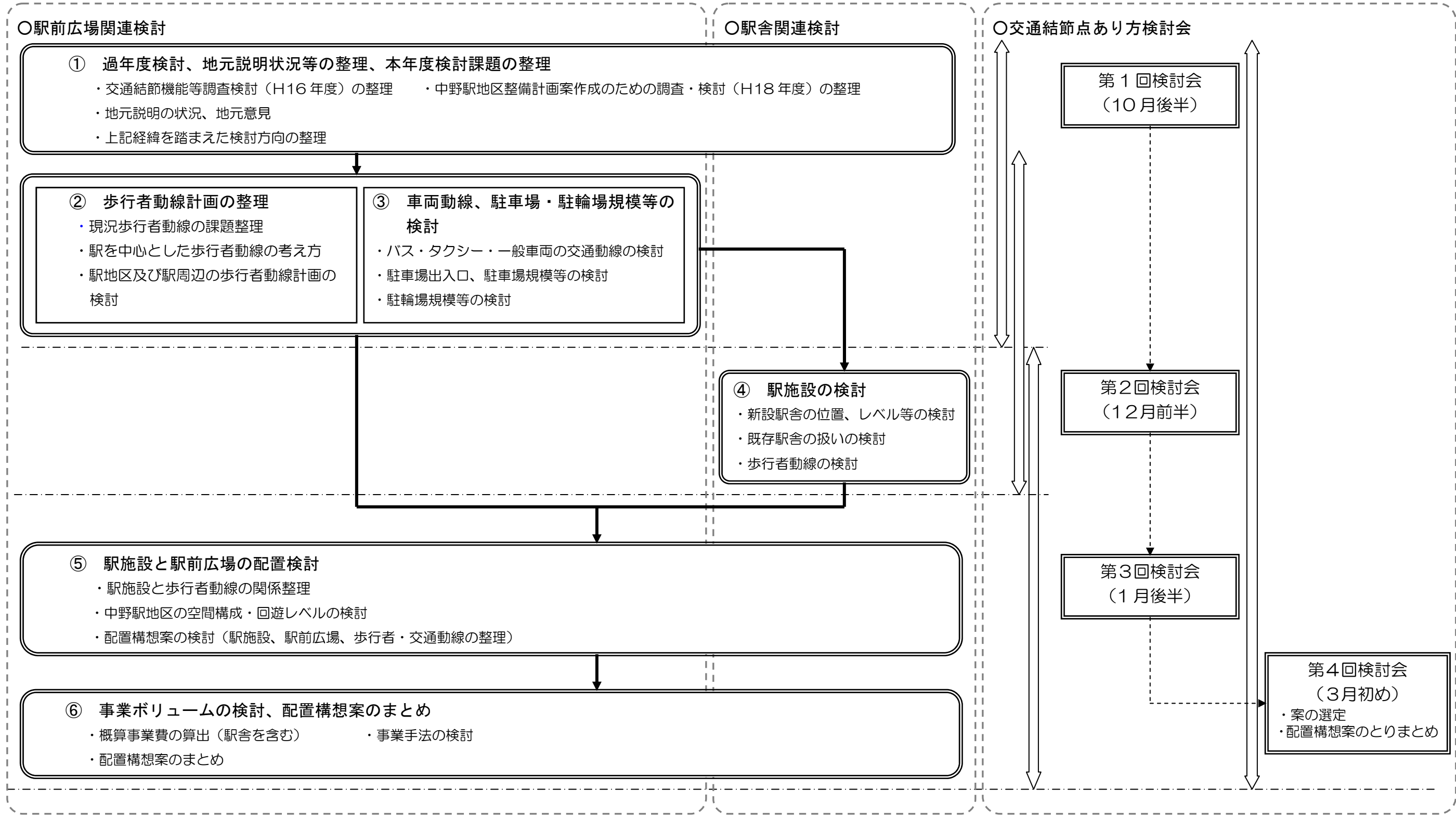
平成 19 年 10 月 23 日 第 1 回検討会設置・開催

平成 20 年 3 月 整備構想案のまとめ

■目的

- ・中野の顔である中野駅及びその周辺を、交通結節点にふさわしい賑わいの拠点とするため、今後の駅周辺地区の開発動向等に対応できる駅施設と駅前広場の配置検討を行う「交通結節点のあり方検討会」を設置する。もって整備構想案を作成する。

■検討フロー



《注意》現時点の想定であり確定したものではありません。

中野駅周辺まちづくり手順(案)

凡例: 構想、事業計画等 事業実施 構想・事業計画・事業実施等

整備内容 \ 10ヵ年計画	ステップ2 (概ね19年度～20年度)	ステップ3 (概ね21年度～22年度)	ステップ4 (概ね23年度～26年度)	平成27年度以降
中野駅地区				
警察大学校等跡地地区	 ○警察病院開院			
中野二丁目再開発事業				
第九中・中央中統合新校				
新中野体育館 (第九中跡地)				
新区役所総合庁舎 清掃車庫 (中野体育館跡地)				
区役所・サンプラザエリア				